

## 大阪・関西万博具体化検討会 討議資料

澤田裕二  
UG WORK 代表  
20190125

○主な論点には解決すべき課題が示されているが、その具体化には抽象的な検討に留まらず、個別の具体的なアイデアやプランを作成し、検討する必要がある

○検討のポイントは以下の3点と思われる

- ① 多様で多数の「参加者」を作る
  - ⇒ 人類の知恵を集めて、人類社会の未来を拓く事業とするため
  - ⇒ 「なんのために」「どのように」参加するのかわかる計画が必要
    - \* 博覧会の目的は、その立場によって異なる
  
- ② 多様で多数の「来場者」を作る
  - ⇒ よりよい社会に変革する事業
  - ⇒ 社会を構成する市民が変わることで社会が変わる
  - ⇒ 人類社会の未来を拓く知恵を多くの市民が共有する
  - ⇒ 「理屈」ではなく「面白い」と興味喚起できる内容が必要
    - \* リアルで限定的なふれあい、平和な雰囲気
  
- ③ 博覧会は「現代に何ができるか」を仮説する
  - ・ 望ましい都市環境の提示
  - ・ つなぎ直し 人と人、企業／団体と企業／団体、人と企業／団体
    - \* 未来を作り出す「運動体」と捉え、プロセスを重視する